

## 令和5年度 遊佐町振興審議会(全体会)会議録

・開催日時 令和5年12月14日(木)午後2時58分～午後3時37分

・場所 遊佐町役場 議場

### ■出席委員

伊原ひとみ、石川茂稔、渡会健、池田生子、大場清悦、高橋勇、真嶋敦子、東海林和夫、伊原光臣、佐藤源市、遠田裕子、佐藤裕士、渡邊宗谷、高橋繁子、谷地由美子(15名)

### ■欠席委員

斎藤勇喜、土門大勇、石垣敏勝、佐藤仁、服部正規(5名)

### ■町出席者

町長、副町長、教育長、総務課長、企画課長、地域生活課長、産業課長、健康福祉課長、町民課長兼会計管理者、教育課長、議会事務局長

### ■事務局(企画課企画係)

佐藤裕也、瀧口めぐみ

## 1、開会 午後2時58分

### (企画課長)

委員の出欠状況を報告。20名中15名の出席であり、遊佐町振興審議会条例第6条第3項の規定により会議が成立していることを報告する。

## 2、会長挨拶

### (会長)

この時期竹が曲がってくるような雪が降るとほぼ根雪になるというのが私の経験であるが現在雪の気配もなく、安心して新年を迎えられるのでは年が越せるのではないかと思っている。

委員の皆さまにはお忙しい中審議会へ足を運んでいただき、慎重審議のうえ、本日の答申にたどり着くことができ、感謝を申し上げます。多岐にわたる町政課題に対し、十分な審議ができたのではないかと感じている。フランスのある詩人の詩の中に、「湖に浮かべたボートをこぎように人は後ろ向きで未来に入っていく」という言葉がある。今、見る自分には過去と現在しか見れないというような一節である。後ろ向きに進むとは言え、頭の中に目指す場所をしっかりと描くことが重要であり、町がボートとなった場合、船長となる町長がしっかりと進む方向を見て号令を出すことで、町がきちんとした到着点につくという意味で、町長の手腕に期待していることが大きい。令和6年が実りある年になることをお祈りし、また委員の皆さまへ感謝し挨拶とする。

### 3、会議録署名委員の指名

(企画課長)

本日の会議録署名委員は会長より指名する旨を説明する。

(会長)

本日の会議録署名委員に、渡会健委員、池田生子委員を指名する。

### 4、協 議

(企画課長)

振興審議会条例第6条第2項の規定により、会長が議長になる旨を説明する。

(会長)

(1) 令和5年度の新規建設等事業報告について、事務局に説明を求める。

(事務局)

資料1について説明。

(会長)

委員に質問、意見を求める。

(意見、質疑なし)

(2) 全体会及び各部会会議録について、事務局に説明を求める。

(事務局)

資料2について説明。

(会長)

委員への質疑を省略し、委員各位で確認いただくこととする。

(3) 答申(案)及び部会報告について、はじめに資料3の答申(案)を確認のため読み上げる。

(会長読み上げ)

資料4、資料5の部会報告に関して、各部会長より読み上げにより報告を求める。

(佐藤部会長)

資料4に基づき総務厚生部会報告を読み上げる。

(伊原部会長)

資料5に基づき文教産建部会報告を読み上げる。

(会長)

各報告(案)について、委員からの質問、意見を受け付ける。

(意見なし)

(会長)

以上で協議を終了する旨を通告する。

(企画課長)

町長への答申書作成のため15時30分まで休憩とする。

(再 開)

5、遊佐町総合発展計画第8期実施計画の策定について(答申)

会長が答申書を読み上げ、町長に手交する。

6、町長挨拶

諮問から短期間での丁寧な議論、多忙な中でのご参加に感謝する。来年度は合併70周年を迎えるが、人口は合併当時の半分となり、少子化は大変な課題であり、審議いただいたことをもって地域の活力を生み出すためにしっかりと受け止め前に進みたい。

日沿道がいよいよ今年度末、遊佐鳥海 IC まで開通する。道路をしっかりと活用し、PAT 計画、町をつくることに対して、英知を結集して向かっていかないといけない。税収が豊かな都市部と違い地方は財政的に大変なハンデを抱えている中で、餅加工施設、PAT はじめ、持続可能な賑わいある遊佐町に向かうため、この計画をもとに踏み出す年としたい。皆様からご支援、ご協力を頂きたく、また皆様のご尽力に感謝し御礼の言葉とする。

7、閉会

(企画課長)

今年度の振興審議会を終了する旨を通告し、午後 3 時 37 分 終了。